

基本的生活習慣

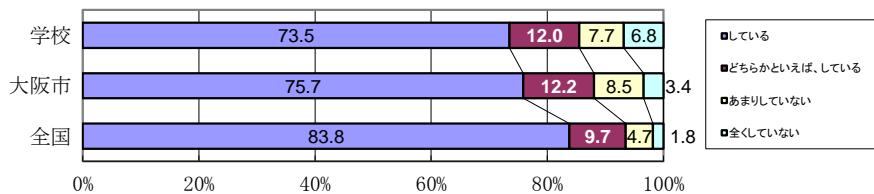
結果の概要

- 朝食については、85.5%の生徒が喫食しているが、否定的な回答をした生徒が14.5%おり、家庭への啓発も含め、課題がある。
- 1日当たりの携帯電話・スマートフォンの使用時間を見ると、2時間以上の生徒の割合が、全国平均より約1割多い。4時間以上と回答した生徒が2割に上っており、家庭での学習時間を奪っていることがうかがえる結果である。
- テレビゲーム等についても、長時間している生徒の割合は、全国平均を約1割程度上回っており、これも家庭での学習習慣の確立の阻害要因となっていると推測される。

質問番号	質問事項
------	------

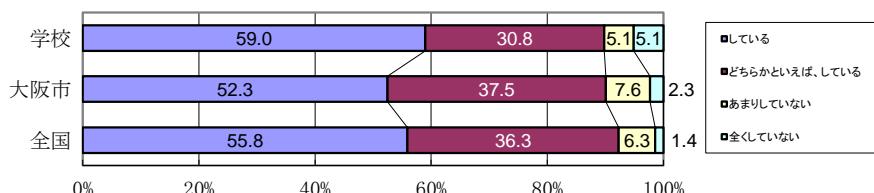
1

朝食を毎日食べていますか



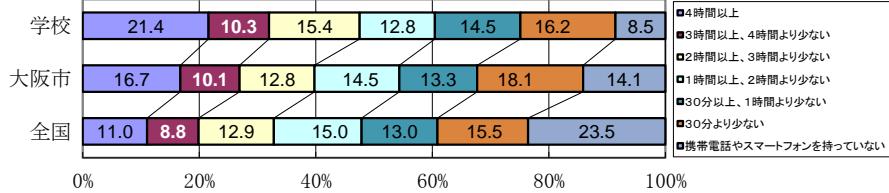
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



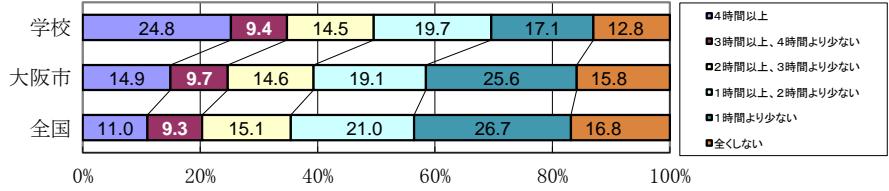
13

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(ゲームは除く)



12

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム等含む)をしますか



成果と課題

- 学校全体の目標として、「時間を守る」「あいさつをする」「学校をきれいに」を掲げ、基本的生活習慣の形成を図り、一定の成果が見られる。しかしながら、家庭生活において、「携帯電話やスマートフォンの使用時間」や「テレビゲームをする時間」が長い傾向が見られ、改善をはかっていかなければならない課題である。

今後の取組

- 家庭との連携をさらに強化し、学校・家庭で身につけるべき基本的生活習慣の共有を図り、課題の解決に向けて取り組みを進める。
- 食育通信や給食指導を通じて、健康や食事についての意識のさらなる向上を図る。